

## 平成29年度当初予算編成のポイント

普通交付税の「合併算定替」終了に伴う影響で、今後も、一般財源総額の減少傾向が見込まれる中、熊本地震の経験を通じた「新たに必要なまちづくり」を力強く進めるため、これまで以上に柔軟な視点で市政の状況を見つめ直し、市民のニーズに近づけるためのあらゆる手法を検討し、その検討結果をはっきりと提示できる予算編成に取り組む。

### 1 震災復興対策 【八代市復旧・復興プランに基づく取組】の推進

「平成28年熊本地震」の経験を活かす予算編成

- ・今回の熊本地震の経験を基に策定中である「八代市復旧・復興プラン」に係る事業の推進に向け、適切な取組みを進める。

### 2 市長八策 【八策実現に向けた事業】の継続・推進

現在、実施している事業の着実な展開

- ・「地域振興」や「教育・子育て支援」など、8項目の実現に向け、確実かつスピード感を持って取組みを進める。

### 3 節税対策 【創意工夫ある改善措置】の継続・推進

FM(ファシリティマネジメント)の活用による事業手法の見直しの明確化

- ・事業を継続するかしないか、また、その必要性を考える際には、単に以前と同じ手法の繰り返しではなく、コストの抑制やサービスの充実などが図られるよう、今の時代に即した産官学連携などによる民間活用の手法も検討し、費用対効果の上昇へつなげることを明確にする。
- ・決算審査特別委員会等において予算確保を要望された事業は、単に事業費の増額という観点だけでなく、採算性を高めるために必要な手法を検討する。

### 4 景気改善対策 【地方創生を活かす事業】の継続・推進

「八代市総合戦略」を活かす予算編成

- ・現在、「地方創生」で位置づけている事業についても、効果の検証を行い、指標どおりの効果を得られていない事業については、思い切った事業手法の変更もを行い、改善できる手法を見出す。